

## 第3次子ども読書活動推進計画の進捗について（令和7年度実績）

担当課	施策No.
子育て・健幸課	(基本方針1) 2, 4, 8, 9, 10, 11 (基本方針5) 52, 56
学校教育課	(基本方針1) 6, 7 (基本方針3) 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27 (基本方針4) 44 (基本方針6) 61
市民協働課	(基本方針5) 49, 50, 51, 58
生涯学習課	(基本方針5) 53, 57
図書館	(基本方針1) 1, 3, 5, 9 (基本方針2) 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 (基本方針4) 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45 46, 47, 48 (基本方針5) 50, 51, 54, 55, 57, 58 (基本方針6) 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65

※新たに取り組んでいる施策については赤字で記載するとともに、各表のNo.欄を塗りつぶして表示しています。

基本方針1 家庭における子どもの読書活動の推進

①子どもが読書に親しむ環境づくりの推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
1	赤ちゃんタイムで読み聞かせを行うことで、乳幼児が親子で読書に楽しむ機会を提供します。	赤ちゃんタイムの実施回数(年間)	24回	図書館休館日と重なった日以外は毎月2回開催した。	22回	年末年始や蔵書点検と重なり日程上開催できない日があった。	今後はお盆や年末年始を対象外とし、開催日を精査するとともに、積極的に活動を推進していく。	図書館
2	母子健康手帳アプリを活用し、赤ちゃんタイム等乳幼児向けの情報発信を行います。			母子健康手帳アプリの配信が終了した。(R5.7末)		母子健康手帳アプリの配信が終了した。	市ホームページや市公式ラインで保健センターの行事予定や子育てコラムなどの情報発信を行っている。	子育て・健幸課
3	母子健康手帳アプリを活用し、月齢に応じた絵本の紹介等、読書に関わる情報発信を行います。			母子健康手帳アプリの配信が終了した。		母子健康手帳アプリの配信が終了した。	市ホームページや市公式LINEなどで書籍の周知をするとともに、定期健診や赤ちゃんタイム時にPRしていく。	図書館
4	市の保健事業の際の待ち時間に、親子で絵本に触れ合うことができるよう図書館と連携し、一定期間絵本の貸し出しを受けます。			図書館より一定期間絵本の貸し出しを受け、絵本の読み聞かせを実施をした。		親子で絵本に触れ合うよい時間となっているため、継続実施していく。	継続実施	子育て・健幸課
5	荷物が多かったり時間がなかったりして本を選べない保護者のために、絵本をまとめて貸し出す赤ちゃんえほんバッグを配置します。			赤ちゃんえほんバッグを受付カウンター近くに設置し、貸出を行った。赤ちゃんタイム開催時には赤ちゃんえほんバッグの紹介をし、利用促進に繋げた。		赤ちゃんタイム後にえほんバッグの貸出が定期的にあるが、えほんバッグの中身があまり変更されていない。	赤ちゃんえほんバッグの中身を定期的に変更し、バッグの貸出を継続して行っていく。	図書館
6	家庭教育学級における読書活動の推進に関わる取り組みを、市のホームページ等を活用し情報発信します。			家庭教育学級における読書活動の推進に関わる学校や幼稚園の取り組みを、ホームページに掲載し、紹介した。		学校によって取り組みに差がある。	各単位PTAの家庭教育係の担当を通じて啓発していく。	学校教育課
7	岐阜県発行の家庭教育学級応援通信「みんなで子育て」を配布し、読書活動の啓発を行います。	「みんなで子育て」の配布回数(年間)	12回	「みんなで子育て」を配布し、読書活動の啓発を行った。	12回	家庭によって読書量の差が大きい。	各単位PTAの家庭教育係の担当を通じて啓発していく。	学校教育課

②子どもが読書に出会う機会の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
8	乳児健康診査時等に乳児と保護者へ絵本を渡し、絵本を介して心の触れ合いを育み、絵本を開く喜びと読み聞かせの大切さを伝えます。	ブックスタート事業の実施回数（年間）	24回	乳児健康診査時にブックスタートサポーターが絵本の読み聞かせをし、絵本を介して心の触れ合いをはぐくむことができた。	24回	健診後も、継続的に絵本に触れ合うことができるよう図書館の利用につなげていきたい。	ブックスタート事業の際に、図書カードを仮登録だけでも発行できるとよい。	子育て・健幸課
9	図書館からの情報提供等やNPO法人ブックスタートが開催する研修会の案内や資料の提供等により、ブックスタートサポーターの資質の向上に努めます。			NPO法人ブックスタートが開催する研修会の案内や資料の提供を行った。（子育て・健幸課）  担当課を通じてサポーターに対し、研修会開催について情報提供した。（図書館）		サポーター人員が減少傾向にあるが、新規参加者もあり事業継続できている。（子育て・健幸課）  図書館より提供した研修会等の情報に対し、参加状況の把握ができない。（図書館）	開催する研修への参加により資質の向上ができるとよい。（子育て・健幸課）  担当課を通じ、研修等の要望を確認するとともに情報提供を継続する。（図書館）	子育て・健幸課  図書館
10	市内4か所の子育て支援拠点において、絵本の読み聞かせ等の様々な読書活動を推進します。			子育て支援拠点において、絵本の読み聞かせ等を行い、絵本に触れる機会がつけられるなど、読書活動の推進につながった。		絵本の読み聞かせの大切さや意義などの理解不足の傾向がある。	保護者等へ絵本の読み聞かせの大切さや意義などを周知する。	子育て・健幸課
11	市のホームページや子育てハンドブック、母子健康手帳アプリ等を活用し、子どもが読書に出会う機会の周知に努めます。			子育てハンドブック等により読書に出会う機会の周知に努めた。		周知の方法をより広げる必要がある。	市のホームページや子育てハンドブック、LINE等を活用する。	子育て・健幸課

基本方針2 幼稚園・保育園・認定こども園における子ども読書活動の推進

①本に親しむ場の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
12	読み聞かせボランティアの紹介や絵本や紙芝居を貸し出しし、各園での読み聞かせが充実するよう努めます。			各園に対し、図書館だよりにて図書の紹介を行い、読み聞かせの意義を伝えるとともに、ボランティアについて周知した。		読み聞かせは各園の保育士が行っているため、要望がなかった。	各園に対し、図書館だよりにて読み聞かせボランティアの紹介について、周知を継続する。	図書館
13	団体貸出の利用を啓発し、各園の読書環境の充実に努めます。			図書館だよりにて団体貸出の周知や新書情報を提供した。		団体貸出は利用されているが、一定の利用団体に限られる。	各園に対し、図書館だよりにて団体利用の周知を継続する。	図書館

②市立図書館や保護者、ボランティアとの連携体制の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
14	市立図書館主催の子ども向けイベント等の情報を各園に提供し、広く周知を図ります。			図書館イベントのチラシやポスターを配布し、ホームページ等で周知を行い、情報提供を図った。		図書館行事に対する認知度が低い。	チラシやポスターを配布していくとともにホームページ等での周知を継続する。他のイベント等でも周知する。	図書館
15	保護者への読書啓発のヒントとなるような情報を提供し、園と保護者との連携体制の強化を支援します。			市内保育園や幼稚園等に図書館だよりを配布し、図書館イベントの際にはポスターやチラシを配布して情報提供を行った。		図書館行事に対する認知度が低い。	図書館だよりやポスターチラシの配布を通じて情報提供を継続する。他のイベント等でも周知する。	図書館

③園の指導体制の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
16	研修会の案内や資料等の提供を行い、各園の指導者の資質向上を図ります。			県で主催する研修等について、各園に情報提供した。		各園指導者における研修等に参加するための時間的な調整が必要。	時間的な余裕をもって、各園に継続的に情報提供を行う。	図書館
17	園での指導の参考になるような専門書・参考書を充実させ、指導者の資質向上に資する環境を整えます。			図書購入予算が減額され、専門書等の購入ができなかった。		予算の獲得が必要。	予算の獲得を図る。雑誌スポンサー等の周知による独自の財源確保を継続する。	図書館

④園図書室の整備・充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
18	発達段階に応じた図書の紹介や幼児向け図書のベストリーダーを紹介し、各園の選書の参考となるような情報提供を行います。			市内保育園や幼稚園等に図書館だよりを配布し、年齢に応じた図書の紹介を行った。		保護者の関心が薄いことや図書館だよりの周知不足がある。園での購入予定や予算によって購入する本に限りがある。	図書館だより等を通じた情報提供を継続する。他のイベント等でも周知する。	図書館

基本方針3 小・中学校等における子ども読書活動の推進

①学校図書館利用の年間指導計画の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
19	学校図書館利用の年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体の中で共通理解を図り、読書指導を行います。			図書館教育の全体計画や年間指導計画を見直し、学校の教育活動全体の中で共通理解を図り、読書指導を行った。小中学校で電子書籍を利用できる環境を整えた。		共通理解を図る場が定期的に設けられていない。	図書主任中心に職員回答で情報共有する場を位置付ける。	学校教育課
20	図書主任会を開催し、県や市の方向性を伝え共通理解を図ります。			夏休み期間中に図書主任会を実施し、県や市の方向性を伝え共通理解を図った。		主任会での伝達のため、全教職員への周知が不十分な面がある。	市の状況や県からの情報を確実に各学校に伝達し、適宜、各学校に進捗状況等を確認する。	学校教育課

②読書指導の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
21	読書ファイルを活用し、自分自身の成長を確認できるようにするとともに、発達段階に合わせた図書の紹介を行います。また、児童・生徒による委員会活動において、「おすすめ本の紹介」、「図書館まつり」等を通して、読書の機会を増やしたり、読書の質を高めたりします。			各学校の実態に応じて、読書ファイルを活用し、児童生徒自身の成長を形として残している。委員会や教員が各学年に合わせたおすすめの本を紹介し、読書への関心を高めた。		読書ファイルを活用することで、自分の読書量を振り返るのみで、自分の成長を振り返ることにはなかなかつながっていない。	読書冊数だけでなく、読書の内容や質等を振り返る場を位置付ける。	学校教育課
22	図書主任会で各校の実践交流を行い、大切にしていることや取組みを共有し、自校の実践に生かします。			各中学校区で実践交流をし、各校の大切にしていることや取組みを共有し、自校の実践に生かせるようにした。		交流したことを自校の実践に活かしている学校とそうでない学校がある。	適宜、実態について、各学校に確認する。	学校教育課

③学校図書館の整備・充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
23	児童・生徒や教師の要望を取り入れながら、蔵書の充実に努めます。			児童・生徒や教師にアンケート調査を行い、新書の選定をしている。		予算面ですべての要望に応えることができない。	要望を一部取り入れながら、計画的に蔵書の充実に図る。	学校教育課
24	読書まつりや読書週間 におすすめ本を紹介する等、学校図書館の本に関心を持てるような企画を実施します。	学校図書館に関する企画を実施した学校数	13校	「先生のおすすめの本」や「図書委員が選ぶ一冊」など児童生徒・教師が本の紹介をし、図書館の本に関心をもてるような企画を考え実施した。	13校	学校間によって、活動内容や活動への取り組み方に差がある。	図書主任会等で各校の取組みを交流する。	学校教育課
25	各教科や宿泊研修先と関連付けたコーナーの設置やパスファインダーを活用する等、学びの拠点となる工夫を行います。			各教科や宿泊研修先と関連付けたコーナーを位置付け、学びの拠点とする工夫を継続して行った。		コーナーの内容が長年変わらず、児童生徒の学びにあっていない学校もある。	児童生徒の学びにあったパスファインダーになっているのか、適宜見直していく。	学校教育課
26	市立図書館の団体貸出や電子書籍を利用し、授業や調べもの学習等で活用します。			電子書籍を利用し、授業や調べもの等で適宜活用している。		多くの学校が活用しているが、貸出数や利用回数は学校間で差がある。	団体貸し出しや電子書籍について、全教職員に周知できる場を位置付ける。	学校教育課

④家庭読書のすすめ

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
27	学校だよりを通して、学校図書館の取り組み等を保護者紹介し、家庭読書の啓発に努めます。			図書館だよりを通して学校図書館の様子が保護者にも伝わるようにした。		学校間で差がある。	ホームページなども活用し、学校での様子を伝える。	学校教育課

基本方針4 市立図書館における子ども読書活動の推進

①子ども向け図書の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
28	貸出ベストや予約ベスト、リクエストカード等を参考に、子どもが興味のある図書の把握に努めます。			貸出・予約ベスト、リクエストカード等を参考に興味のある図書の把握を行った。電子書籍アンケートを活用し、ニーズの把握に取り組んだ。		子どもからのリクエストが少ない。	教育委員会の協力の下、小中学校等でのアンケートを継続し、引き続き子どものニーズの把握に努める。	図書館
29	把握した子どものニーズを参考に図書の選書を行い、図書の充実を図ります。	児童書の蔵書数（令和9年度末）	50,000冊	把握したニーズを基に、幅広く児童書の選書を実施した。	48,709冊	予算に限りがあるため、ニーズに沿った新書の購入が困難である。	予算を要望していくとともに寄付の募集や雑誌スポンサー、企業版ふるさと納税を周知して財源の確保に努め、ニーズに合った蔵書の充実を図る。	図書館
30	はしま電子図書館の蔵書の充実を図るとともに、子どもへの利用啓発を行います。	電子書籍（児童書）の蔵書数（令和9年度末）	1,200冊	自主財源を基に電子書籍の選書をし、利用啓発を行った。	1,039冊	予算に限りがあるため、ニーズに沿ったコンテンツの購入が困難である。	予算を要望していくとともに寄付の募集などを募ることで財源の確保に努め、ニーズに合ったコンテンツの充実を図る。	図書館

②子ども向け事業の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
31	子どもの読書週間に合わせたイベントや夏休みイベント、図書館まつりを開催し、子どもが図書館に来館するきっかけを提供します。	子ども向けイベントの開催回数（年間）	3回	子どもの読書週間イベント、夏休みイベント2回、キッズウィークイベント、図書館まつりを行った。	5回	イベントによっては募集に達しないこともあるが、定員以上の参加希望者が多く、参加出来ない人が多かった。	開催イベントの回数の増加等、イベントのあり方を検討する。	図書館
32	市立図書館の児童書コーナーにおいて、子どもの読書意欲の向上に寄与するような企画展示を行います。			季節に合わせた展示や児童書コーナーではないが職場体験に参加した中学生や羽島高校のおすすめ本の展示等を行った。		様々な年代の子どもに関心を得られるような展示内容を考えることが難しい。	子どもの興味・関心を持ちそうなテーマを決めて、読書意欲の向上に寄与するような企画展示を継続する。	図書館
33	「赤ちゃんタイム」や「おはなしひろば」にて読み聞かせを行い、幼少期から読書に親しむきっかけを提供します。	赤ちゃんタイムの実施回数（年間）（再掲）	24回	赤ちゃんタイムやおはなし広場を実施した。	22回	年末年始や蔵書点検期間と重なり、日程上開催できない日があった。	今後はお盆や年末年始を対象外とし、開催日を精査するとともに、積極的に活動を推進していく。	図書館
		おはなしひろばの実施回数（年間）	24回		23回			
34	読書するきっかけや市立図書館を利用する動機づけとなるよう読書通帳の活用を働きかけます。			館内の目につきやすい場所に読書通帳を設置しPRするとともに、図書館見学やイベントの際の活用呼びかけを実施した。		読書通帳の利用者が固定化されている。	読書通帳活用の啓発を継続するとともに、システム対応の検討をする。	図書館
35	子どもが読書に興味を持つとともに、表現する楽しさを知るきっかけとなるよう手づくり絵本コンクールを開催します。			夏休み期間に合わせて手づくり絵本コンクールを実施した。第20回イベントにちなんで夏休みのイベント「手づくり絵本講座」を開催した。		学校やホームページのPRによって昨年より応募者が増えてきているが、中学生の応募が少ない。	羽島市独自のコンクールであることをPRし、小中学生に周知を継続するとともに、今年度開催し好評だった手づくり絵本作成講座の継続を検討する。	図書館

③市立図書館への理解を深める機会の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
36	各園・各校からの図書館見学を随時受け入れて図書館への理解を深める機会を提供します。	図書館見学の受入回数(年間)	12回	小学校低学年を中心に、図書館見学の受け入れを行った。	8回(出前講座を含む)	図書館見学を実施する学校が固定化している。	図書館見学の受け入れを継続するとともに、図書館見学の周知を行い図書館の魅力を伝えていく。	図書館
37	中学生の職場体験や高校生以上のインターンシップを積極的に受け入れ、図書館の活動を理解する機会を設けます。	職場体験・インターンシップの受入回数(年間)	5回	中学生の職場体験の受け入れを行った。	3回	職場体験においては、参加する学校が固定化している。	中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受け入れを継続する。	図書館

④子どもの読書に関する情報提供の充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
38	図書館だよりを発行し、読書に関わる情報発信を行うとともに、学校を通じて配布することにより市立図書館へ来館するきっかけづくりを行います。	図書館だよりの発行回数(年間)	6回	2か月に1回、図書館だよりを発行した。	6回	図書館だよりの発行から「すぐる」によって家庭へ届くまでのタイムラグがある。	行事予定なども記載しているため、早めの発行を心がける。	図書館
39	子ども向けのレファレンスサービスを実施し、自ら調べ学ぶ体制づくりに貢献します。			1階カウンターに子どもレファレンスコーナーを常時設置し、レファレンスサービスを提供した。		子どもレファレンスコーナーの認知度が低い。	子どもレファレンスコーナーの設置を継続するとともに、周知して利用を啓発する。	図書館
40	子どもの興味や関心がある事柄や郷土学習に役立てられるようなテーマでパスファインダーを作成し提供します。			子ども向けパスファインダーの設置を行った。		子供が関心を持っているジャンルなど、テーマの見直しが常に必要。	子ども向けパスファインダーを周知するとともに、新たなテーマを模索する。	図書館
41	市立図書館が主催する各種イベントのほか、関係機関が開催する読書に関わるイベントの情報発信を行います。			岐阜県図書館をはじめとする近隣図書館等のイベントポスターやチラシを掲示し、情報発信を行った。		近隣図書館への関心が低い。	近隣図書館等のイベントの情報発信を継続する。	図書館
42	市公式LINEアカウント、AIスタッフ等を活用した情報提供やLOGOフォームを利用した情報収集等、新たな情報ツールの活用を図ります。			市公式LINEアカウントやAIスタッフを活用し、情報提供を行った。LOGOフォームを活用したイベントの集客やアンケートを実施した。		アンケートへの協力者は当初よりは増えてきているが、回答者はもっと増えるとよい。	情報ツールの活用を継続し、幅を広げていく。	図書館

⑤学校図書館・ボランティア等との連携の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
43	図書主任会等に出席し、市立図書館と学校との連携強化を図るとともに、団体貸出の利用や主催するイベント等の参加を啓発します。			図書主任会に出席し、各校図書担当者と情報共有を行った。図書主任会でPRしたボードゲームを用いた取組に興味を持った学校へボードゲームの貸出を行った。		当館から学校図書館への情報提供が一方通行なので、相互で情報を提供し合えるようになるとうい。	図書主任会に出席し、各校図書担当者と情報共有を継続するとともに、学校におけるボードゲーム活用の実践を交流できるよう促す。図書担当者だけでなく、学校宛に連絡等を行っていく。	図書館
44	学校と連携し、はしま電子図書館の活用を推進します。教育委員会と連携し、1人1台端末環境下における取り組みを検討します。			授業等で電子図書館を利用した。(学校教育課)  全児童生徒がはしま電子図書館を利用できる環境を整備した。(図書館)		学校間で活用頻度等の差がある。(学校教育課)  小学校中学年以上は利用されているが、中学校での電子書籍の利用がかなり少ない。(図書館)	市図書館と連携し、電子書籍の活用方法を検討したり、教職員への周知の場を設定したりする。(学校教育課)  教育委員会等と連携し、電子書籍の活用を促進する。(図書館)	学校教育課  図書館
45	ボランティア等を活用した読み聞かせの実施や、各種イベントの開催を通じて関係ボランティアとの連携強化を図ります。			読み聞かせ活動へのボランティアの活用や、様々なイベントの開催を通じて、関係するボランティアとの連携を図った。		ボランティアの後継者が少ない。	ホームページ等でボランティア募集を随時行っていくとともに、活動内容について周知していく。	図書館
46	県公共図書館協議会等を通じて他の公共図書館の実践を学んだり、先進的な取り組みを行っている図書館と情報交換を行い、自館の取り組みにも生かせる体制をつくります。			県公共図書館協議会等を通じて先進事例や特徴的な取組を学び、自館にも取り入れた。R7からは、新たに発足した「岐阜圏域ライブラリーネットワーク」に参画した。		先進事例を取り入れる反面、羽島市のボードゲーム等を取り組みとして情報共有していきたい。	羽島市の先進的な取り組みを発信するとともに、他館の取り組みも取り入れられるよう検討する。	図書館

⑥職員等の資質の向上

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
47	各種研修会等に参加し職員の資質向上を図るとともに、習得した知識や技能を他の職員にも還元し、職員全体のスキルアップを図ります。			正職員及び会計年度任用職員ともに研修会に参加し、スキルアップを図った。		人事異動に伴い、随時研修を受講していく必要がある。	研修会の参加を継続し、職員のスキルアップを積極的に行う。	図書館
48	関係機関等へ各種研修会の情報や資料の提供を行い、読書に関わる関係者等の資質向上を図ります。			研修会等の情報をボランティア団体等へも周知した。		各団体が希望する研修内容のものが少ない。	研修会等の情報をボランティア団体等へも周知していく。	図書館

基本方針5 地域における子ども読書活動の推進

①コミュニティセンターでの取り組み

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
49	学校や市立図書館との更なる連携を図り、地域の特性に応じた事業の実施に取り組みます。			江吉良コミュニティセンターでは、夏休みに「図書館開放事業」を実施した。		コミュニティセンターに設置されている図書の貸し出し状況は施設ごとに差がある。	コミュニティセンター間で状況を共有するとともに、学校や市立図書館との事業の連携を検討する。	市民協働課
50	各コミュニティセンターの特性に応じ、図書の充実を図るとともに市立図書館の団体貸出を活用する等、地域の読書環境の整備を図ります。			竹鼻・竹鼻南コミュニティセンターでは社会福祉協議会の補助金を活用し貸出用の本を整備し図書の充実を図った。江吉良コミュニティセンターでは市立図書館の団体貸出を利用し地域の読書環境の充実を図った。(市民協働課)  団体貸し出しの周知に努めた。(図書館)		市立図書館の団体貸出の利用が限定的である。(市民協働課)  団体貸し出しを利用するコミュニティセンターが限られている。(図書館)	団体貸出の活用を促進するため周知を行う。(市民協働課)  団体貸し出しの周知の継続する。(図書館)	市民協働課  図書館
51	地域における生涯学習の拠点として、読書推進に関わる情報等を発信します。			各コミュニティセンターにて、市立図書館がイベントを行う際にポスターやチラシを設置した。(市民協働課)  図書館イベント等の情報をチラシやポスターを配布し情報提供した。(図書館)		周知方法が限定されている。(市民協働課)  コミュニティセンター利用者が図書館に関心を抱いているか不明である。(図書館)	ポスターやチラシ以外の情報発信方法を検討する。(市民協働課)  チラシやポスターによる情報提供を継続する。(図書館)	市民協働課  図書館

②地域での取り組みの充実

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
52	放課後児童教室において、図書を整備する等、教室参加者が読書に取り組める体制を整備します。	図書を整備した教室の数(令和9年度末)	9教室	放課後児童教室に、図書を整備し、読書環境の整備を図った。	9教室	読書の大切さや意義などの理解不足の傾向がある。	読書の大切さや意義などを周知する。	子育て・健幸課
53	放課後子ども教室において、読み聞かせボランティアの活用や読書する時間を設ける等、教室参加者が本に親しむきっかけをつくります。			9教室において、ボランティア講師やスタッフによる絵本の読み聞かせや紙しばいを実施した。		読み聞かせを行うだけでなく、参加者が自ら本に興味を持つきっかけとなるよう内容を工夫する必要がある。	講師と連携しながら内容を工夫し、参加者が親しみやすい内容とする。	生涯学習課

③地域人材の活用・連携

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
54	読み聞かせボランティアと連携し、「赤ちゃんタイム」や「おはなしひろば」を開催します。			読み聞かせボランティアと連携して、「赤ちゃんタイム」や「おはなしひろば」及びイベントを実施した。		ボランティアの後継者が少ない。	ホームページ等でボランティア募集を随時行っていくとともに、活動内容について周知していく。	図書館
55	図書館友の会や折り紙サークル等の市民活動団体と連携し、図書館まつり等のイベントの企画や運営を行います。			市民活動団体と連携し、図書館まつり等のイベントを開催した。		各団体の活動内容に対する認知度が低い。	イベント開催時に、各団体の活動内容等を周知する。	図書館
56	ブックスタートサポーターと連携し、ブックスタート事業を実施します。			乳児健診時にブックスタートサポーターによるブックスタート事業を実施した。		サポーター人員が減少傾向にあるが、新規参加者もあり事業継続できている。	メンバーで日程を調整し、実施する。	子育て・健幸課
57	はしまシティカレッジとの連携を推進し、読書に関わるボランティア等の資質向上を図ります。			3名を認定講師として多様な講座を実施した。また、フォローアップ講座を実施することで講師の資質向上を図り、地域での自主的な活動を推進した。(生涯学習課)  図書館まつりにおいて、認定講師による講座を開催した。(図書館)		学びの循環による人材育成を推進するため、読書や図書に関する人材を含めたより多くの市民に広く制度を周知する必要がある。(生涯学習課)  シティカレッジ受講者への活動機会の提供の継続が必要である。(図書館)	チラシや広報紙での周知に加えて市のSNSも活用し、図書館と連携しながら、講師の地域活動を通して継続的な周知を行う。(生涯学習課)  引き続き、図書館のイベント等での認定講師の活用を検討する。(図書館)	生涯学習課  図書館
58	市民活動団体制度を推進し、読書に関わるボランティア等の活動支援を行います。			市に関連したボランティア団体として、市ホームページに読書に関わるボランティア団体を掲載している。(市民協働課)  図書館のイベントへの協力団体が加入するボランティア活動保険の保険代を負担し、支援を行った。(図書館)		周知方法が限定されている。(市民協働課)  ボランティア団体参加者の把握が必要である。(図書館)	市ホームページ以外による活動内容の周知方法を検討する。(市民協働課)  団体より参加者名簿を提出してもらい、ボランティア団体への支援を継続する。(図書館)	市民協働課  図書館

基本方針6 誰一人取り残さない読書環境の整備

①読書のバリアフリー化の推進

No.	取組内容	指標名	目標値	R7実施内容	R7実績	課題	課題解決に向けての取組	関係課
59	点字本やLLブックを充実し、様々な読書に対して障がいのある子どもに対応できるように整備します。			点字本やLLブックを収集するとともに、バリアフリーコーナーを設けた。		バリアフリー図書の利用が少ない。	バリアフリー図書の収集を行うとともに必要とする子どもへの周知方法を検討する。	図書館
60	外国にルーツを持つ子どもが、読書に親しむことができるように多言語対応の図書を充実させます。			多言語対応の図書を収集するとともに、多言語図書を集めたコーナーを設けた。		多言語図書の利用が少ない。	多言語図書を必要とする子どもへの周知方法を検討する。	図書館
61	視覚や四肢の障がい等により読書することが困難な子どもでも本に親しめる環境を整備するため、電子書籍の活用を推進します。			電子書籍を活用することで読書することへの困難さが一部解消できた児童生徒がいる。(学校教育課)  全ての小中学校で、はしま電子図書館の電子書籍が利用できる環境を整備し活用を進めている。(図書館)		中学校での電子書籍の活用率が小学校に比べて著しく低い。(学校教育課)  年齢が上がるに伴い、読書をする子が少なくなっている。学校によって使用できる時間が限られている。(図書館)	活用例等を各学校に示しながら、電子書籍の利便性を周知する。(学校教育課)  隙間時間でも利用できる電子書籍の利便性を周知する。(図書館)	学校教育課  図書館
62	マルチメディアDAISY図書の貸し出しを行い、読書が困難な子どもでも読書できる機会を提供します。	マルチメディアDAISY図書の蔵書数(令和9年度末)	20点	マルチメディアDAISY図書の収集を行った。	20点	マルチメディアDAISY図書の利用が少ない。	マルチメディアDAISY図書の収集を継続するとともに、周知を行う。	図書館
63	音声資料や映像資料等の視聴覚資料を充実させるとともに、字幕表示や副音声機能等を搭載した資料を積極的に取り入れます。	視聴覚資料の蔵書数(令和9年度末)	660点	副音声機能や字幕機能を搭載した視聴覚資料の収集を行った。	768点	限られた予算の中で、バリアフリー機能を搭載した視聴覚資料の収集が難しい。	映像資料のほか、読み上げ機能付きの電子書籍についてもホームページや図書館だよりにて周知する。	図書館
64	図書館のホームページだけでなく市ホームページを活用することにより、文章の読み上げ機能や多言語対応できるように努めます。			図書館ホームページに掲載されている情報は、市ホームページにも掲載している。		図書館行事に対する関心度が低い。	市ホームページにも並行して情報提供するとともに、図書館以外の場所での情報提供に努める。	図書館
65	情報提供の充実や団体貸出、読み聞かせボランティアの紹介等を通じ、市内の特別支援学校や障がい児通所支援事業所との連携を推進します。			特別支援学校への情報提供を行うとともに、障がい児通所支援事業による団体貸出を実施した。		特別支援学校や障がい児施設の図書館利用が少ない。	特別支援学校との連携方法を模索するとともに、障がい児通所支援事業による団体貸出を継続する。	図書館